

4 土地・気象

6. 気象の状況

三面海に囲まれた本県は、南九州、四国南部、紀伊半島及び伊豆半島と並んで温地地方です。しかし両総台地は内陸性気候で寒暖差はやや大きく、反対に太平洋及び沿岸は海岸性の気候で比較的暖かくなります。

雨量は地域により差はありますが、房総丘陵の南側が多く、北西部は少なくなり特に内湾沿岸は本県でも雨量の少ない地域です。

平成22年の天候の特徴

1月は、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くありました。2月から4月は前線や低気圧、寒気の流入で気温が低く、日照時間も少なくなりました。5月は高気圧に覆われた日が多くありました。6月、7月は梅雨前線や低気圧の影響を受けましたが、高気圧に覆われた日が多くあり、気温は高く、日照時間も多くなりました。8月は台風第4号や低気圧の影響を受けた日もありましたが、太平洋高気圧に覆われた日が多く気温もかなり高くなりました。9月、10月は台風第9号・第14号及び前線や低気圧の影響で、降水量は多くなりました。11月、12月は、天気は周期的に変わり、気温の変動が大きくなりました。

年間平均気温は高い又はかなり高く、年間降水量は多い又はかなり多く、年間日照時間は平年並み又は多くなりました。

平成23年の天候の特徴

1月は、冬型の気圧配置の日が多く、日照時間はかなり多くなりました。2月は高気圧や低気圧が交互に通過し天気は周期的に変わりました。3から4月は冬型の気圧配置や高気圧に覆われる日が多く日照時間はかなり多くなりました。5月は前線や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、降水量は多くなりました。6月から7月は太平洋高気圧が強まった影響で平均気温は高くなりました。8月は、太平洋高気圧に覆われましたが、下旬には前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなりました。9月は、高気圧に覆われ晴れた日が多く、気温はかなり高く、日照時間もかなり多く、厳しい残暑となりました。10月から11月上旬は移動性高気圧や前線及び低気圧が交互に通過したため天気は周期的に変わりました。11月中旬から12月は冬型の気圧配置や高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。

年間平均気温は平年並み又は高く、年間降水量は少ない又は平年並みで、年間日照時間は、多い又はかなり多くなりました。

気象分布図 平成23年

